

# 会報



**第 43 号**  
平成 27 年 3 月  
発行  
彩の国いきがい大学  
校友会連絡協議会

サラリーマン時代、仕事と家庭生活を両立させながら、世界七大陸の最高峰にチャレンジ。1973年のマッキンリー登頂後、仕事の繁忙と結婚を機に山から離れました。

そして再び、25年の空白を経て50歳で登山を再開。組織もスポンサーもなく、登山費用はすべて自己資金。2007年のチョモランマ登頂まで34年間の歳月を要したが、在職中に達成した。

そして、2006年から継続している「ヒマラヤ登山10年計画」は、現在、6000m峰7回(5座)、8000m峰5回(4座)に登頂。世界最高峰のエベレストに、たったひとりの登山隊で二度の登頂。と同時に、二度の8000m峰登山隊の隊長として、全員登頂を果たした。

楽しい人生を実現するためには、目的・目標を掲げて、「常に自分を変え続けること」。変わらない真理があると思えば、それは「世の中は変わり続ける」ということだと思えます。こんなに変わり続ける世の中で、楽しく安定的な



## プロフィール

### 大山 光一氏 (登山家)

東松山市在住 1948年生まれ  
日本ヒマラヤ協会 日本山岳会  
埼玉県山岳連盟海外登山委員会

#### ◇略歴

- 10代後半から、国内の岩壁登攀及び積雪期登山を中心に活動。
- 1970年代、埼玉県山岳連盟登山隊(マッキンリー、カラコルムヒマラヤ)に参加。
- 25年の空白期間を経て、50歳で登山を再開。仕事と家庭生活を両立させながら、世界七大陸の最高峰(マッキンリー、キマンジャロ、アコンカグア、ゴジウスコ、エルブルース、ピンソンマシフ、チョモランマ)に登頂。セブンサミッターの仲間入り。
- 埼玉県山岳連盟登山隊長として、二度の8000m 峰(2009:フォーエー、2011:マナスル)に全員登頂。
- 海外登山歴 (28回:2014年12月31日:現在)

の生き方や仕事の成功のためには重要なことだと思えます。新しいことに挑戦し、新たな情報を学び、根気よくやり抜くことができれば、人生は大きく

瞬間でした。一方、次代を担う子供たちと自然を舞台に体験学習をしています。山を登るといふことは、自分の足しか頼れない

## 「夢抱き 夢育み 夢実現」を實踐

### 登山家 大山 光一

動き始めます。

昨春、「ウォーキングのまちからヒマラヤに登る」を合言葉に、東松山市市制施行60周年記念登山をネパールヒマラヤで実践しました。

参加者の平均年齢は65歳。最高齢は72歳、68歳のご夫婦、等。体力も登山経験もバラバラですが、マイペースで登り、5545mのカラバタールに全員(8名)登頂。自分には出来ないと思っていたヒマラヤ登山が実現した

い。目的の山頂に着いたとき、満足感とか達成感を味わうことができました。小さな挑戦だけど、自分が味わった喜びを、一人ひとりの人生が未来に向かって動き始めるのだと思います。

種は蒔



2014年:美ヶ原高原

いてみなければ、ただ一つの芽も出ません。多くの人は煩わしいことを嫌いますが、夢は煩わしいことの向こう側にあります。描いた夢のすべては成功しないけど、チャレンジすることが成長するチャンスです。

皆さんに伝えたいのは、夢を実現するために、目的・目標を持つこと。そして、決してあきらめないこと。諦めなければ、必ず夢は叶います。その可能性は自分の中にあります。

わたしにとって、最大の発見、最大の驚きは、自分ではできないと思っていたことが実はできた、ということなんです。

一年を振り返って

社会参加といきがい



伊藤 弘一 会長

昨年12月、第3次安倍内閣が発足しましたが、日本の将来を左右する政策である経済・財政、安全保障、原発、エネルギーなどの多くの重要な課題があります。「アベノミクス」による経済は少しずつ明るい兆しは見え始めましたが、引き続き持続的な成長を願うところです。

さて、県連協では当初企画しました事業は全て無事終了することが出来ました。しかしながら日頃からの努力のみで解決されない課題もあります。例えば、練習・開催場所と経済面や時間の確保の難しさ、会員の高齢化による減少などの問題があります。こうした運営上困難な問題はありますが全ての事業が盛大に実施できましたのは、会員皆様の日頃のご理解・ご協力があつたからこそと思います。改めて感謝申し上げます。

県連協では解決しなければならぬ課題の一つに「社会貢献活動」があります。今年度社会活動部に小委員会を設け具体化の検討をおこなっています。

何ができるかを客観的に、現実的に、見極めて前に進むことが大切であると考えます。

日本の高齢化は二〇二五年には三〇・三％に達すると予測されています。高齢社会に移行することで、社会生活のさまざまな場面で高齢者の存在感が大きくなり、社会的役割を維持し、いきがいを持って暮らせる社会の実現が求められていると思います。高齢者は家族・友人・仲間などと交流をもつこと、社会参加活動へ参加することが生きがい対象のひとつとも言われています。いきがいを考える際には家族・友人・仲間などとの交流を継続・維持することが大切です。多くは社会参加活動への参加意欲はあっても実際の参加にながっていないのが現実のようです。自身の社会参加に対する意欲の向上を図ることと並んで、社会参加の場を地域社会の中に多く設けることも必要かと思えます。

社会活動への参加と、いきがいは相互関係にあります。会員皆様はいきがい大学校友会の社会活動をはじめとして、地域社会の多様な社会活動に積極的に取り組み、いきがいを高めていただくことを期待いたします。

結びに、いきがい大学校友会連絡協議会の発展と会員皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします

社会貢献活動事例報告

【特別養護老人ホーム・彩寿苑】慰問活動

浦和連協

彩の国いきがい大学さいたま学園浦和コースを卒業後、校友会は、社会奉仕活動の一環として、さいたま市の社会福祉協議会と相談させて頂き、【特別養護老人ホーム・彩寿苑】の慰問をスタートいたしました。今年で7年目を迎えましたがお互いに喜びが増して来ているように感じました。

第1回目は、彩寿苑の施設長、介護士の方々と話し合を行い、苑の皆様の興味は何か、慰問時間等相談し校友会として何ができるか、入念に検討し活動を始めました。

演目のポイントは、お互いの青春時代の歌を共に歌い、座ったまま出来る軽い運動、音楽演奏が興味を引くとのことでした。

幸いにして、当校友会もオカリナ・気功・コーラスのクラブ活動が盛んで、慰問は最初から喜ばれ大好評でした。皆から「また来てね」の声を聞き、40数名の方から大きな拍手を戴き、30名余の校友会員は幸せ感と感動を頂いて

おります。

今年は早7回目の慰問でしたが、感動的な出来事は苑の利用者がハーモニカを演奏し、共に歌を楽しんだことです。人気の歌は懐かしい歌謡曲と童謡でした。笑顔と元気な歌声で、1時間15分が過ぎて行きました。

訪問先

【特別養護老人ホーム・彩寿苑】

さいたま市桜区宿400番地

(32期校友会副会長 田口弘三)



## パソコン教室開設する！

熊谷連協

熊連協は社会参加事業として、熊谷市の協力をいただき、熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」のパソコン教室を使用して、平成二十六年下期からパソコン教室を開設いたしました。

以前より、会員の中から「パソコンを習いたいが高齢者を対象とした学習の場がない」との意見があり、熊連協理事会で協議した結果、初歩の学習の場を開設することが承認されました。

### 一・学習

- ① 期間 六ヶ月
- ② 実施日 第一・第三水曜日
- ③ 授業時間 二時間
- ④ 自習時間 一時間
- ⑤ 費用 月一〇〇〇円
- ⑥ OS Windows 8.1

### 二・内容

- ① パソコンの基礎
- ② 文字入力
- ③ インターネット
- ④ メール

### 三・講師（熊連協会員）

- ① 講師 一名
- ② サブ講師 二名

熊連協パソコン教室は、高齢者にIT技術を学んでいただき、その技術を利用して充実した日々を過ごしていただく事を目的としています。

第一期生の中には初めてパソコンに触れる方が数名居り、最初は電源を入れるのを躊躇っていましたが、最近パソコンの操作にも慣れ、インターネットを積極的に楽しむようになってきました。継続こそパソコンマスターの早道です。毎日一時間でも使うことをお勧めしています。

そして、熊谷市社会教育課から、熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」は熊谷市民のための施設なので、熊連協会員以外の高齢者も受講できるようにしてほしいと要望があり、平成二十七年から受け入れることを検討しています。



## 東日本大震災復興支援への一助

川越連協

二〇一一年3月11日に発生した東日本大震災、四年近くの歳月が経つ。

東北地方太平洋沖地震に伴う大津波で、東京電力福島第一原発は未曾悪の事故災害となった。

その爪痕は、一瞬にして多くの尊い命を奪い、居住地域を廃墟と化し、風景を一変させた。さらに、原子炉爆発で発生した放射能漏れによる地域汚染は、原発推進の安全神話を完全に崩壊させた。

それでも、多くの全国からのボランティア活動と地元住民の努力により、着実に復興への道を歩み始めているが、いまだ道半ばである。

そんな中、福島県南相馬市応援企画として、いちばん星南相馬プロジェクトが制作したドキュメンタリー映画「祭の馬」が、NPO法人「高齢社会をよくする会 in 川越」主催で、平成26年10月26日に川越西文化会館で有料上映された。35期校友会は、社会貢献活動の一環として、震災復興支援への小さな手助けとなすべく、広く呼びかけ多数の会員が鑑賞した。

上映の後、南相馬原町民謡同好会

による福島相馬地方の民謡披露と、プロジェクト理事長の「震災から3年7か月、南相馬のいま」と題する講話があり、改めて災害の甚大さを再認識し、さらに「祭の馬」上映会終了時の主催委員長の「支援活動は、今後も永く続けて行きたい」の挨拶に、今後とも一助となるべく、校友会員共々決意を新たに次第である。

（35期校友会会長 家中正利）



## おもちゃの治療で 地域に貢献！

鷺宮連協・東松山連協

学園のクラブ作りに「おもちゃの病院」を提案、賛同者を募りましたが、賛同者無し。・・・今では、近隣地域のおもちゃ病院（久喜市・羽生市・東松山市・幸手市）で 8 人の彩の国いきがい大学を卒業したおもちゃドクターが活躍しています。

おもちゃドクターの有する知識・経験・技術を活かし壊れたおもちゃの無償修理・再生を行い、子どもやその親たちに「もの大切さ」を知ってもらいます。夏休みには、おもちゃの治療や電子工作体験教室で、もの作りを体験してもらい、生の科学を楽しみながら「科学に対する興味・関心」を高めてもらっています。

1 か月に 1 回の定期開院、イベント参加や幼稚園・保育園への出張開院で壊れたおもちゃの治療・再生を、夏休みには、学校・公民館・放課後児童教室で電子工作体験教室・おもちゃ病院体験教室を開催しています。1 年間に先に記した近隣地域おもちゃ病院で 1200 個の壊れたおもちゃが再生されています。

子ども電子工作体験教室では、1 年間に、200 人の子どもたちにももの作りを体験してもらっています。会員達は、治ったおもちゃを手にした子どもたちの笑顔と「ありがとう」の言葉で、「おもちゃの治療で地域に貢献！」の意義を感じ、頑張っています。

（33 期鷺宮校友会 梅原輝雄）



彩の国いきいきフェスティバル  
電子工作体験教室（けんかつ）



保育園でのおもちゃの治療

## 介護施設で

### フォークダンス等の披露

蔵連協

フォークダンス部は川口市にある通所介護施設を訪問して、フォークダンスの披露とカラオケを行いました。長く生きている幸せと、喜びを感じて頂ければとの思いです。

披露は、フォークダンス五曲を踊り、その後は皆でカラオケとコーラスです。今回の踊りは部員 12 名です。女性 8 名男性 4 名です。舞台は施設の中央ホールでした。女性のフォークダンス衣装は華やかで、男性も黒い帽子と黒いベストで、雰囲気盛り上げての踊りとなりました。



リズムカルで、動きの良い踊りは  
雰囲気を盛り上げました。優しい踊

りは一部の高齢の方、介護職員の方にも参加して頂き楽しく賑やかな一時となりました。



踊りの後はカラオケタイムです。懐かしい曲を皆でコーラスしました。なかでも「かあさんの歌」を歌ったときに、高齢のご婦人が涙ぐみながら歌う姿をみて、こちらも心が熱くなる思いになりました。今回のフォークダンスとカラオケは、施設利用されている高齢の方に、喜んで貰える事が出来ました。今回は三回目の活動でしたが、これからも活動して行きたいと考えています

（一五期校友会 矢崎舜一）

## 平成 26 年度の 活動報告

伊奈連協

いきがい大学伊奈学園校友会は現在 2 年制第 23 期までと 1 年制専科 5 期までの一、一〇二名の卒業生が在籍しています。伊奈学園では各期別の校友会としてもそれぞれに社会貢献活動をしています。伊奈連協独自の活動として

### ① グランドゴルフ大会

(9 月 5 日、94 名参加)、

### ② ボランティア活動発表会

(10 月 31 日、12 団体参加)、

### ③ 合同研修会

(11 月 14 日、四一七名参加)、

### ④ 親睦社交ダンスの集い

(11 月 14 日、51 名参加)、

を行なってきました。

また、(公財)いきいき埼玉が主催するいきいきフェスティバル(11 月 3 日、3 団体参加)、及び、県連協が主催する社交ダンスの集い(9 月 26 日、40 名参加)、グランドゴルフ交歓大会(10 月 31 日、22 名参加)、芸能祭(3 月 6 日、5 団体参加)等の行事に積極的に取り組んでいます。

社会貢献活動として、伊奈学園校

友会員の属する 11 分野の 56 団体で構成される伊奈学園ボランティア情報センター(イナ・ヴォイス)が行っているボランティア活動は、介護福祉施設・保育園・幼稚園・地域などの要請に答えて幅広く活動を行っており、非常に高い評価を得ております。

(19 期校友会 中山延雄)



## 共に楽しく・ 友に笑顔で

人間連協

私達南京玉すだれ部は、いきがい大学人間学園第 5 期在学中の班の活動をきっかけに、「楽しそう！覚えてい！」という仲間が集まり、卒業後創部し 2 年になります。

沢山の方に、玉すだれを見て楽しんで笑顔になっていただきました。との思いで日々練習を重ねてきました。現在は社会貢献活動の一環として、介護施設等でボランティア活動をしており、玉すだれの他民謡も踊り、見ている方々に喜んでいただいています。

車いすに座り、それでも一緒に歌を口ずさみ、ニコニコと手で踊っておられる姿には、本当に感動しました。先日訪問した施設では、花笠踊りのアンコールをいただき、皆で大喜びしました。

これからも楽しく練習を重ね、活動範囲を広げ、いつか子供たちの所へも出掛け、可愛い笑顔と歓声の中で、玉すだれを披露する機会を夢見ています。

「おじいちゃん！おばあちゃん！」

と喜んでもらえたらどんなに嬉しい事でしょう。

私達もいきがい大学での友との出会い、そして南京玉すだれとの出会いに感謝し、皆でたくさん幸せな時間を過ごせるよう、努力していきたいと思っています。

(5 期校友会 野口久枝)



## カンボジアへの

## 支援活動

春日部連協

私が、カンボジアの田舎には小学校の校舎が無い事を知ったのは、二〇〇四年でした。友人達と寄付金を集め、サクレン郡ポンクローム地区ブロン村に4教室の小学校を建てました。開校式に招待され、今までの学校を見たときは声も出ませんでした。

バラック家に机も無い、ノートも無い、ペンも無い。有るのは黒板だけでした。当時、世界で最も貧しい国、内戦によって崩壊した国と言っても過言ではありませんでした。4年後に60km離れた地区に小学校を寄付しました。学校の建築費は二五〇万円(円レート100倍)です。

同時に井戸掘りを寄付しているNPO法人を知りました。雨水を溜めた水、ボーフラの浮いている水が住民達の飲み水です。井戸は二・五万円で一本掘れます。カンボジアの平均寿命は62・1歳です。国を立て直すには教育と健康な体です。井戸なら私の所属する班でも活動できると思い、いきがい大学卒業時に話

しました。快く賛成してくれました。

一班は月に一回懇親会を開きます。その時生じるお釣りを貯めて、

毎年7月に送金し、12月に感謝状が届きます。今年で5本の井戸が活躍しています。井戸は村民の2、3家族で1本を使用しています。私達が贈った学校から政治家が生まれ、国が豊かに、綺麗な水を飲んだ子供がオリンピックにエントリーされれば・・・、と思っています。

(十五期 伊藤典男)



## 地域ジュニア

## 交流会

東松山連協

東松山学園校友会では毎年の恒例行事として、近隣の東松山市立『青鳥小学校』の生徒たちと三日間にわたって交流会を行っています。今年度も28期、専科4期が主体となって夏休みが始まった7月22日、23、24日の三日間にわたり実行致しました。今年度の三日間の内容は次の通りです。

①第一日目テーマ『子供と遊ぼう』  
題し一、四年生を対象に朗読クラブ『しらかば』の協力を得て、一部として「朗読、紙芝居」、二部として「アコーデオンと歌おう」、三部として「リズム遊び」を行いました。生徒たちと校友会員が一緒になって歌ったり、踊ったりゲームをしたりと楽しい一時を過ごせました。

②二日目は『マイハンコを作る』をテーマに『篆刻クラブ』の御協力を得て実際に石材に自分の名前を彫ってもらい、世界に一つしかない自分のハンコを作ってもらいました。高学年(五、六年生)を対象として実施しましたが、先生方の受けがよく、

後で全先生が参加されてマイハンコを作られたようです。篆刻クラブの方々には、機材の用意、印稿の作成、布字そして実際の刻印指導まで大変なご協力を頂きました。

③三日目は『マジックを楽しもう』をテーマに『マジッククラブ』の協力を得て、三、六年生を対象として行いました。マジックを見て楽しむ・生徒にマジックを教える・実際に演技を行う、の二部構成で実行しました。子供たちはとても夢中になって道具を作り、演技に集中していた様子が受取れました。

3日間の参加者は生徒、先生、保護者で延べ70人、学園側は原嶋会長を始めとしてメンバー、演技協力者で延べ50人に及びました。

実行した感想として如何に子供たちに興味を引かせる参加型のテーマを選べるか、が今後の課題であると思われました。(実行委員長 山本 稔)



公益財団法人  
いきいき埼玉

彩の国いきがい大学校友会連絡協議会会員の皆様には、日ごろボランティア活動等を通じて地域社会の活性化のため、格別のご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、今年、内閣府が発行した高齢社会白書によりますと、日本の総人口に占める65歳以上の割合は過去最高



会報 43号の発行に寄せて

理事長 吉野 淳一

の二五、一%、4人のうち1人が高齢者となりました。平成26年1月の調査によれば、埼玉県は全国平均より若干低い二二・七%となっているものの、いまや日本は、世界のどの国もこれまでに経験したことのない超高齢社会を迎えています。

埼玉県は、日本一の健康長寿県を目指しています。そこで、自分に合った方法で心と体の健康づくりに取り組む「健康長寿埼玉プロジェクト」をはじめとする様々な事業を展開しています。さらに、県の高齢者支援計画では、

高齢者が心身の健康を維持しながら、これまで培ってきた知識や技能、経験を活かし、地域社会の担い手として活躍していく体制が必要とされています。いまや高齢者の方々には、自分の健康の維持に加え、地域社会の担い手として、従来にも増して地域の活性化への貢献が期待されています。

がさらに身近なものとなるよう大学の課程を再編し、平成27年度から新しいカリキュラムで開講することとしております。

今後とも会員の皆様におかれましては、会員相互の交流を深めていただきますとともに、そのネットワークを活かして、地域社会の様々な、活動に積極的に取組まれるよう、大いに期待しております。

結びに、貴協議会の益々のご発展と、

「彩の国いきがい大学」は、高齢者の方々に、健やかでいきがいのある生活を送っていただくための、学習の場を提供しています。おかげさまで、毎年多くの方々にご入学いただいています。そして卒業後は、学生生活で培った知識や経験を活かすため、校友会、学園連協、そして県連協に加入していただき、さまざまなイベントやボランティア活動をを通して、活躍していただいています。

「彩の国いきがい大学」では、これからの社会の変化を見据え、地域活動

会員各位のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



◇平成 26 年度 いきいき埼玉の主催事業実績◇

- ① 彩の国プラチナフェスティバル (高齢者創作展)  
平成 26 年 9 月 5 日 (金) から 8 日 (月)  
埼玉会館  
部門：日本画 洋画 工芸 書 写真 文芸 応募出品：614点 来場者：2,352人
- ② 彩の国いきいきフェスティバル  
平成 26 年 11 月 3 日 (月・祝)  
埼玉県県民活動総合センター  
県連協から 6 連協 (熊谷、鷲宮、蕨、東松山、伊奈、春日部) が出展 来場者：約 23,000人
- ③ いきがい大学第 2 回公開学習  
平成 26 年 12 月 10 日 (水)  
大宮ソニックシティ 大ホール  
第 1 部 アトラクション「埼玉打楽器合奏団ザ・サークル '90」  
第 2 部 講演「養老訓 ～上機嫌に生きる道しるべ」 講師 養老 孟司氏 (東京大学名誉教授)  
入場者 2,150人 (在学生 1,311人 一般 839人)

県連協事業報告

いきがい大学第2回公開学習事例発表

2 題

26・12・10(水)

童夢 21

伊那連協

平成26年7月9日、大宮ソニックスティ大ホールにて平成26年度第一回公開学習が開催され、第一部のいきいき活動事例として、伊奈学園21期校友会の、むかしの遊び演技集団「童夢(どうむ)21」が、活動状況を発表させていただきますました。

私達童夢21は、在学中の課題学習のグループで、結成から3年になります。高齢者施設や地域サロンを訪問して、民話語りを取り入れて、むかしの遊びを一緒に遊び一諸に歌いプロジェクトを使って楽しく交流させていきたいです。発表当日までに、85回350名の方と交流をさせていただき、26年度中に訪問100回を目標に活動しています。



ひとは何歳になっても例えば認知症になっても幼い頃の歌や遊びはしっかりと覚えていきます大きな声で歌い夢見る童の様に遊び帰る時は笑顔で握手をします「ありがとうね」「楽しかったよ」「冥土の土産が出来たよ」「また来てね」私達はたくさんの方の元気をいただいで帰ります

舞台上では、伊奈の同級生10名にデイサービスの利用者役になっていただいで、訪問先での様子を再現。「通りゃんせ」「かごめかごめ」他「てんでん手鞠」「手品」「誕生祝」「安来節」、最後に認知症予防体操としての「北国の春」を出演者全員で踊り、200名の会場の皆様から暖かい拍手をいただき、今後の活動への大きな励みとなりました。この様な貴重な経験をさせていただきました誠にありがとうございます。(山田記)

絆 33



熊谷連協

今年度、第一回公開学習の事例発表に参加して、有意義な一日を過ごすことが出来ました。我がクラブも六年目になります。毎年一曲のペースで新曲にトライしております。

心配していましたが、皆様一緒に手や体を動かし、楽しんでいたように見受けられました。後半は、よさこいを二曲披露させて頂き、初めに「多喜男のソーラン2」、続いて「ソーラントっこいしょ」を発表しました。なお、部員より今年一番の思い出ができたこと喜び、我がクラブの絆がより深く感じられました。

だんだんと覚えるのに苦労しますが、皆さん途中でやめることなく、今では六曲のレパートリーがあり、今年度はさらに新曲に挑戦しております。発表の場としては、市内の介護施設や熊連協の芸能祭・定期総会のアトラクションなどで活躍しております。また、大宮ソニックスティと言う大きな舞台も経験させていただき、これまでにない達成感を味わうことも出来ました

これからも健康に注意し、活動が続けて行きたいと思えます。(吉岡記)

事例発表では与えられた時間内での発表とあり、いろいろと考えた末、会場の皆さんと一緒に楽しめないものかと考え、始めにパワーポイントを利用しての八分間のプレゼンテーション。途中女性部員の力を借りて、会場の皆様に「よさこい」の触りだけでも覚えて頂こうと思ひ、画面の説明と一緒に踊って頂きました。





# 社交ダンスの集い



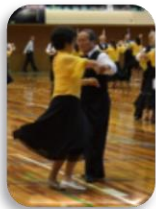
開会式風景

9月26日、上尾運動公園体育館で、7学園とわらびユニークダンス友の会368名の参加で開催されました。今年度は、春日部・東松山・浦和の3学園が担当幹事校となり、6月末からその準備に当りました。各学園のご協力を頂き大会を成功裏に終え、幹事校としての責任を果たすことができました。ご協力に感謝を申し上げます。外はさわやかな秋晴れ、9時からの会場準備も各学園手際よく進み、午前中はフォーメーション発表のリハーサルで、各学園とも念入りにチェックしておりました。

12時半からの開会式では、伊藤県連協会長から「ダンスを続けることへの応援メッセージ」向佐いきいき埼玉理事から「どんな集いかと興味津々、存分楽しんで下さい」とのご挨拶頂き盛大にスタートしました。



わらびユニークダンス



の実行委員・スタッフの皆さんに御礼を申し上げます。  
(春連協 中里記)

佳境な中でのラストダンス、何故か哀愁を感じてのダンスとなりました。中島県連協副会長の閉会の辞で、次年度での再会を誓い終了しました。長期間にわたり準備に当った3学園



フォーメーション発表

最も緊張する各学園のフォーメーション発表、如何に隊形を崩さず優雅に踊るか、半年に及ぶ練習成果の見せ場、夫々の学園旗が見守る中で2曲が披露された。ミキシングは、全員が一堂に会し踊る自由なステップで

恒例のフリーダンス、他学園との思わぬ出会いを楽しみながら、交流を深め元気に賑やかに踊りました。ダンスコスチュームを着こなした男女、背筋がピンと伸び軽やかなステップ、とてもシニア世代の集いとは思えない、明るく元気な会場となりました。

## 平成26年度県連協主催 第16回グラウンド・ゴルフ交歓大会

秋晴れの佳き日とはいかず、朝から曇り空。時々雲の間から陽の光が天然芝に降り灌ぐ中、川越運動公園陸上競技場に於いて、10月31日(金)、県連協グラウンド・ゴルフ交歓大会が開催され、各連協から精鋭二〇五名が参加。県連協会長・伊藤平(熊谷学園)、準優勝者・田尻善信(春日部学園)両氏の力強い選手宣誓により、熱戦が繰り広げられた。選手の方々も薄曇りの中、汗ばむほどにプレーに集中し、天然芝の感触を確かめながら、納得のいくゲームを満喫していました。

プレーが総て終了し、集計の結果、優勝された石川修治氏(伊奈学園)、準優勝の齋藤喜静氏(鷺宮学園)は、共に69のハイスコアで、しかもホールインワンも数回記録され、3位、10位の方々もホールインワンを記録されました。更に入賞者以外にもホールインワン賞を授与された方も16名。ラッキー賞は抽選で54名が授与されました。閉会式も空模様は怪しくなり、予定より20分遅れとなりましたが、何とも雨にも関わらず、無事に大会を終えま



県連協会長 伊藤弘一氏



始球式



競技風景

した。ここに川越学園、入間学園の実行委員の方々に誌上を借りて御礼申し上げます。  
(川連協 企画部長 玉岡福)

	学園	氏名	スコア
優勝	伊奈	石川修治	69
準優勝	鷺宮	齋藤喜静	69
3位	伊奈	関根 浩	71
4位	川越	布瀬川松一	71
5位	鷺宮	岡田文三	72
6位	熊谷	松田丞臺	73
7位	蕨	山中達也	74
8位	蕨	倉石貞夫	75
9位	東松山	岡田 弘	75
10位	熊谷	橋本健一	75
	上位入賞者		

# 県連協主催 第3回芸能祭 県活総合センターにて盛大に開催

## 第3回芸能祭

平成 27 年度最後の県連協行事である第3回芸能祭が、3月6日(金)に県民活動総合センター小ホールで開催された。今回は、伊奈連協、浦和連協と鷺宮連協が幹事校となって企画・運営された。当日は暖かな日とで、会場は熱気に溢れ、出演者も大いに日頃の練習の成果を十分に発揮し、熱烈な拍手が惜しみなく注がれた一日でした。

県連協主催の第3回芸能祭が、3月6日(金)埼玉県民活動総合センター小ホールにて盛大に開催されました。3回目の担当幹事校は伊奈連協・浦和連協・鷺宮連協の3校で企画・運営されました。開会のセレモニーは10時に行われ、全員で「四季の歌」合唱後、実行委員長・中山延雄伊奈連協会長の開会の辞、大会会長・伊藤弘一県連協会長の挨拶、いきいき埼玉



新聞紙のファッションショー 蕨

玉代表者のご挨拶を頂き、演目の公演となりました。小ホールは観覧席が三〇〇席弱ですが、ステージと座席の段差が少なく、その分演技者と観客席とが一体となり、盛り上がりがありました。来場者数は六〇〇人超えて、時間によつては立ち見ができる程の盛況ぶりでした。出演者の見事な演技に、拍手の止まない状況でした。演目を見ますと、安来節・オカリナ・混声合唱・社交ダンス・太極拳・舞踊・南京だれ・ファッションショー等々多彩で、どの演技も超一流です。

伊奈連協の安来節が幕開けで、午前中は10チームによる演技で、中でも白波五人衆が圧巻。お昼の休憩を挟んで、午後一番は蕨連協のファッションショー。モデルが舞台に出てきますと、なんと身に着けているのは新聞紙。アイデアもさることながら、沢山の新聞紙とカラーの新聞紙をよくも集めたものだと感じると同時に、楽しいファッションショーに会場は感嘆の声が聞かれました。



安来節 伊奈

午後の部にも伊奈連協の安来節がありました。その中の夫婦踊りは芸もイッピンで会場を笑いに誘い、素晴らしい演技でした。

春日部連協の手話ダンスは、ダンスをしながら手話を覚える事が出来て、大変良いと思いました。

最後は伊奈連協の合唱チーム。終了後も舞台に残り、幹事校の閉会の辞の後観客席と一緒に、全員で「今日の日はさよなら」の大合唱で締めくくり、熱気ある一日を楽しく終了しました。

### 編集後記

県連協の幹事校となった26年度、6月発行「県連協ニュース」と、今回の3月発行「会報43号」の編集に携わった。一番の困難は原稿を依頼する連協へのやり取り。編集業務より、メールによる実務に大半の時間が費やされた感がある。(齊藤記)

今回の編集に当たっての心配事は、各記事の依頼連絡先が、多岐に亘る事、担当者の確定が年度切り替え等の過度期である事であった。これをクリアすれば連協それぞれが、優秀な編集者を有している為、順調に推移すると思った。(深澤記)

### 作成幹事校

いきがい大学東松山学園連絡協議会

